

(別添1)

事業評価の結果（共通項目）

第三者評価の判断基準

福祉サービス種別 保育所 長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【保育所】共通項目に係る判断基準による
事業所名（施設名）長野市西部保育園

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
福祉サービスの基本方針と組織	1 理念・基本方針	(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a)	1 理念、基本方針が文書（事業計画等の法人（保育所）内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等）に記載されている。 2 理念は、法人（保育所）が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人（保育所）の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。 3 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。 4 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。 5 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。 6 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。 7 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。	・理念、基本方針は長野市公立保育園、認定子ども園共通のものになっている。保育園のしおり、運営規定に載せてあり、基本方針は具体的な内容になっている。 ・職員には年度初めの職員会で説明している。 ・保護者には入所・継続説明会で説明している。例年4月の保護者総会にも説明しているが、今年度はコロナウイルス感染症対策のため総会が開催されなかったため、運営規定を掲示している。 ・アンケート結果からは、保護者等について理念、基本方針の周知が図られていると判断できる。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	2 経営状況の把握	(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a)	<p>8 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。</p> <p>9 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。</p> <p>10 子どもの数・利用者（子ども・保護者）像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人（保育所）が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。</p> <p>11 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。</p>	<p>・「長野市子ども・子育て支援事業計画」にて分析、記載されている。</p> <p>・地域発達支援会議（今年度はコロナウイルス感染症対策で行われていない）、4か月健診に園長、主任が出席し、地域の現状やニーズ等を把握している。</p>
			経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a)	<p>12 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。</p> <p>13 経営状況や改善すべき課題について、役員（理事・監事等）間での共有がなされている。</p> <p>14 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。</p> <p>15 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。</p>	<p>・長野市子ども未来部保育・幼稚園課の下で運営されている。</p> <p>・コピーや保育材料の節約、代替人材確保、修繕箇所等について職員に周知し、全体で取り組めるようにしている。</p>
	3 事業計画の策定	(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a)	<p>16 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標（ビジョン）を明確にしている。</p> <p>17 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。</p> <p>18 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。</p> <p>19 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。</p>	<p>・「長野市乳幼児期の教育・保育の指針」「子ども・子育て支援事業計画」にビジョンを明確にしたうえで数値目標や成果等が策定されている。</p> <p>・長野市では「長野市公共施設個別施設計画～保育所・認定こども園編～」として公共施設マネジメントの推進の観点から素案が令和2年4月にまとめられている。西部保育園についても機能の方向性、建物の対策等、実施期間が示されている。人口減少の進展、人口構造の変化、市民ニーズの多様化、東日本台風災害やコロナウイルス等の影響で厳しい長野市の財政下で総合管理計画の老朽化対策について園としても保育・幼稚園課と相談しながら今後長期計画の中で検討され地域、保護者、職員も含め意見の集約を図ることを期待する。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	3	(1)	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a)	<p>20 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。</p> <p>21 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。</p> <p>22 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。</p> <p>23 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。</p>	<p>・「長野市乳幼児期の教育・保育の指針」を基に園の事業計画や業績評価で、中長期計画を反映し、具体的な目標を示している。</p>
		(2) 事業計画が適切に策定されている。	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a)	<p>24 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。</p> <p>25 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。</p> <p>26 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。</p> <p>27 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。</p> <p>28 事業計画が、職員に周知（会議や研修会における説明等）されており、理解を促すための取組を行っている。</p>	<p>・前年度に課題の洗い出しを行い、職員参画の下で年間行事計画の作成している。また、職員が実施後に評価を行い次年度につなげている。</p> <p>・「長野市乳幼児期の教育・保育の指針」「子ども・子育て支援事業計画」にビジョンを明確にしたうえで数値目標や成果等が策定されている。</p> <p>・「長野市乳幼児期の教育・保育の指針」を基に園の事業計画や業績評価で、中長期計画を反映し、具体的な目標を示している。</p>
			事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a)	<p>29 事業計画の主な内容が、保護者等に周知（配布、掲示、説明等）されている。</p> <p>30 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。</p> <p>31 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。</p> <p>32 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。</p>	<p>・入所説明会、継続説明会、保護者総会等で例年説明しているが、今年度はコロナウイルス感染症対策のため、継続説明会と保護者総会は実施していない。そのため今年度はお便りや写真の掲示を増やして保護者に理解してもらえるようにしている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a)	<p>33 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。</p> <p>34 保育の内容について組織的に評価(C: Check)を行う体制が整備されている。</p> <p>35 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。</p> <p>36 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。</p>	・職員全体で園の自己評価を年2回行い集計し、園全体の課題として洗い出し、全員で検討、改善している。今年度は第三者外部評価を受審する。
			評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a)	<p>37 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。</p> <p>38 職員間で課題の共有化が図られている。</p> <p>39 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。</p> <p>40 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。</p> <p>41 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。</p>	・園の自己評価結果を文書化し、職員会で共有、課題について検討し、園内研修につなげている。
組織の運営管理	プ1 管理者の責任とリーダーシップ	(1) 管理者の責任が明確にされている。	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a)	<p>42 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。</p> <p>43 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。</p> <p>44 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。</p> <p>45 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。</p>	・新年度職員会や必要時に職員に方針を伝えている。業績評価で目標を明確にし、職員に周知している。 ・事務分掌、職務分担表についても同様に周知している。 ・有事の際は「危機管理マニュアル、災害フロー」で明確化されている。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント				
	1	(1)	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a)	46	施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者（取引事業者、行政関係者等）との適正な関係を保持している。	・係長研修で地方公務員法等を学んでいる。 「公立保育園長の心得」「保育の手引き」「マナーブック」等で労働基準法等の法令や労務管理について学び、職員に必要なことを伝えたり、園内研修を行っている。 ・廃棄物処理法やフロン排出抑制法等の環境法規や食品衛生法等の幅広い分野についても把握することを期待する。			
					47	施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。				
					48	施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。				
					49	施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。				
		(2)	管理者のリーダーシップが発揮されている。	保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a)	50	施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	・第三者評価内容評価項目を基に評価を行い分析し、園内研修をして改善に取り組んでいる。 ・昨年までは、外部研修に自主的に参加する職員が多かったが、今年度は特にコロナウイルス感染症対策のため、外部研修が少なくなっている。園内研修が充実したものになるよう、職員がグループに分かれて研修を担当し、進めている。		
						51	施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。			
						52	施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。			
						53	施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。			
					経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。		a)	54	施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	・職員の経験やスキルを考慮し、クラス担任や加配などの配置をしている。また、人事異動調書や面談を通して職員の意向を把握している。 ・衛生推進者と安全推進者を設置し、職員で園内を巡回し危険個所の洗い出しと改善を推進している。 ・保育材料や光熱費等の無駄をなくすよう、職員に伝えている。また、必要なものについては優先順位を決めて購入し、職務の効率化を図っている。
								55	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	
								56	施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	
								57	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	
					58	施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。				

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	2 福祉人材の確保 ・ 育成	(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a)	<p>59 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。</p> <p>60 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。</p> <p>61 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。</p> <p>62 法人（保育所）として、効果的な福祉人材確保（採用活動等）を実施している。</p>	<p>・人員体制については長野市の配置基準により体制が決められている。保育・幼稚園課でハローワークを通して人材確保に努めている。パート職員は園で採用している。</p>
			総合的な人事管理が行われている。	a)	<p>63 法人（保育所）の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。</p> <p>64 人事基準（採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準）が明確に定められ、職員等に周知されている。</p> <p>65 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。</p> <p>66 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。</p> <p>67 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。</p> <p>68 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。</p>	<p>・「保育の手引き」で期待する職員像を明確にしている。人事基準については長野市の基準があり、周知されている。正規職員の能力評価、業績評価を行っている。会計年度任用職員についても人事評価を実施している。</p> <p>・保育・幼稚園課の担当係長が労務の巡回指導を行い、現場での処遇状態の確認をしている。また、園長は全職員と面談を行い、意向を聞いている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	2	(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a)	<p>69 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。</p> <p>70 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。</p> <p>71 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。</p> <p>72 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。</p> <p>73 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。</p> <p>74 ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。</p> <p>75 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。</p> <p>76 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。</p>	<p>・園長が衛生推進者として労務管理に取り組んでいる。労務に関する書類が整備され、職員に周知されている。</p> <p>・出勤簿管理や時間外勤務つ命令簿兼勤務実績確認簿は園長と保育主任が定期的にダブルチェックしている。</p> <p>・全職員が年1回の健康診断と、ストレスチェックを受け、結果によっては病院の受診や医務保健室を利用している。</p> <p>・園長と保育主任は業績評価提出時に、園長は異動調書に沿って全職員と面談している。</p> <p>・有給休暇については取得状況や残業の上限について定期的に確認している。</p> <p>・市の福利厚生に準じたものを実施している。</p> <p>・仕事の配分に配慮したり、職員に声がけし、時間外労働を削減し、定時での帰宅や休暇取得の促進を進めている。また、休憩パート保育士を確保し、休憩が取れるようにしている。</p>
		(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a)	<p>77 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。</p> <p>78 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。</p> <p>79 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。</p> <p>80 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。</p> <p>81 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末（期末）面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。</p>	<p>・「保育の手引き」で期待する職員像を明確にし、面談時に確認している。</p> <p>・正規職員は業績評価を行い、目標管理を個々に面談することで進捗状況の確認をしている。会計年度任用職員は、保育・幼稚園課作成の自己評価（試行）を行い、園長が評価している。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	2	(3)	<p>職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。</p>	a)	<p>82 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。</p> <p>83 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。</p> <p>84 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。</p> <p>85 定期的に計画の評価と見直しを行っている。</p> <p>86 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。</p>	<p>・基本方針の中で期待する職員像が明示されている。長野市研修体系があり、新規採用保育士研修から始まり様々な研修会が実施されている。それぞれの研修会や園長会、補佐会で評価、見直しが行われている。</p> <p>・今年度は新規採用保育士1名について採用保育士研修と10年目研修として1名について教育・研修が実施されていた。また、自主的な研修として「自然に関するテーマ」でレポート研修が行われていた。今年はコロナウィルスの影響で外部の研修は少ない。</p>
			<p>職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。</p>	a)	<p>87 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。</p> <p>88 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。</p> <p>89 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。</p> <p>90 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。</p> <p>91 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。</p>	<p>・毎年異動調書を基に面談し把握している。正規新規採用職員にはステップノートを活用し、保育主任と園長が個別にOJTを行っている。</p> <p>・「長野市立幼保連携型認定こども園教職員・長野市公立保育所職員研修要領」に研修区分があり、それぞれ参加している。外部研修に関する情報は回覧等で提供し、参加を勧めている。保育に支障がないように人員配置を行い、体制を整えている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	2	(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a)	<p>92 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。</p> <p>93 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。</p> <p>94 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。</p> <p>95 指導者に対する研修を実施している。</p> <p>96 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。</p>	<p>・「実習生受け入れマニュアル」があり、明文化されている。</p> <p>・養成校の担当者が保育園に訪問し、話し合いを持ち連携をとっている。</p> <p>・主任が指導者研修を受け、職員に伝えたり指導にあたりしている。</p> <p>・コロナウィルスの影響があるが学校側と協議し配慮した内容で実施している。なお毎年実施している職場体験は中止されている。</p>
	3 運営の透明性の確保	(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a)	<p>97 ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。</p> <p>98 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。</p> <p>99 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。</p> <p>100 法人（保育所）の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人（保育所）の存在意義や役割を明確にするように努めている。</p> <p>101 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。</p>	<p>・長野市のホームページや広報に公立園全体の情報として記載されている。</p> <p>・園では年2回保護者アンケートを取り、結果を公表し、改善している。苦情解決の仕組みは玄関に掲示し、保護者に入園説明会等で伝えている。</p> <p>・理念、基本方針、ビジョン等は「保育園のしおり」や「長野市子ども・子育て支援事業計画」に記載している。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	3	(1)	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b)	<p>102 保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。</p> <p>103 保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。</p> <p>104 保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。</p> <p>105 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。</p> <p>106 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。</p> <p>107 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。</p>	<p>・年度当初に職務分担を明確にし、事務手続きに沿って全員で遂行している。</p> <p>・定期的に市の監査を受けている。また、2年に1回県の監査を受けている。指摘事項があれば改善している。</p> <p>・中核市である長野市は包括外部監査が行われており令和元年度において「子育て及び高齢者福祉等関連事業に関する事務の執行について」として令和2年2月に公表されている。長野市の子ども子育て支援事業の中で監査の結果、意見や提案がされている。個々の保育園で該当する事例が少ないかもしれないが外部監査結果の周知とその内容を第三者評価結果による見直しと同様にインプット項目として入れ検討記録として残されることを希望する。</p>
4	地域との交流、地域貢献	(1) 地域との関係が適切に確保されている。	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a)	<p>108 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。</p> <p>109 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。</p> <p>110 子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。</p> <p>111 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。</p> <p>112 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。</p>	<p>・基本方針や全体の計画に明示されている。</p> <p>・地域のイベント情報を掲示している。</p> <p>・職場体験やボランティアなど受け入れているが、今年度はコロナウイルス感染症対策のため、受け入れていない。</p> <p>・園児が参加できるような地域の行事はないが、地域の方から畑を借りてさつまいもを作ったり、大きく育った大根を収穫させてもらったりしている。また、七夕の竹をいただきに、近くのJAへ園児が訪れている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	4	(1)	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a)	<p>113 ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。</p> <p>114 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。</p> <p>115 ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。</p> <p>116 ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。</p> <p>117 学校教育への協力を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボランティア受け入れマニュアル」があり、基本姿勢が明文化されている。 ・受け入れの際にはマニュアルに沿って事前説明を行い、安全に配慮している。 ・「長野市子ども・子育て支援事業計画」で中高生ボランティア受け入れを推進しており、職場体験等の受け入れをしているが、今年度はコロナウイルス感染症対策のため、行っていない。
		(2) 関係機関との連携が確保されている。	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a)	<p>118 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。</p> <p>119 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。</p> <p>120 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。</p> <p>121 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。</p> <p>122 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。</p> <p>123 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エコマップ（関係機関一覧）を作成し、職員に周知している。地域発達支援会議で定期的に情報交換をしているが、今年度はコロナウイルス感染症対策のため、行われていない。園医とのカンファレンス、小学校やこども相談室、福祉政策課篠ノ井分室との連携等を行っている。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
	4	(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	保育所が有する機能を地域に還元している。	a)	<p>124 保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。</p> <p>125 保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。</p> <p>126 保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。</p> <p>127 災害時の地域における役割等について確認がなされている。</p> <p>128 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。</p>	<p>・おひさま広場として毎週木曜日に園開放をしている。今年度はコロナウイルス感染症対策のため、遊ぶ場所や参加人数を制限しているが、園長、保育主任、看護師による子育てや保育園入所に関する相談を受けている。</p> <p>・保育主任が4か月健診に出向き、情報提供をしている。</p> <p>・災害時の地域における役割について確認し、様々な災害を想定し、訓練している。西部保育園では自家発電設備を有しており災害時における役割が期待される。</p>
			地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a)	<p>129 保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。</p> <p>130 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。</p> <p>131 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。</p> <p>132 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。</p> <p>133 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。</p> <p>134 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。</p>	<p>・入園式や卒園式、運動会に地域の区長と民生委員を招待し、子ども達の成長を見てもらったり、地域の情報を得たりしているが、今年度はコロナウイルス感染症対策のため、来賓の招待は行っていない。</p> <p>・心身障がい児交流保育事業として篠ノ井愛の樹園と交流を持ち、連携しているが、今年度はコロナウイルス感染症対策のため、行っていない。おひさま広場や4か月健診で相談に応じている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の福祉サービス	(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a)	<p>135 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。</p> <p>136 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。</p> <p>137 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。</p> <p>138 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。</p> <p>139 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。</p> <p>140 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。</p> <p>141 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。</p> <p>142 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。</p>	<p>・理念や基本方針を掲示し、「保育の手引き」で倫理綱領とともに読み合わせを行い、人権に配慮した保育が実践できるようにしている。人権に関する研修に職員が参加し、園内研修している。人権に関するマニュアルや第三者評価基準で研修し、自己評価を行い改善につなげている。</p> <p>・全体的な計画、年間指導計画等で計画し取り組んでいる。</p> <p>・方針は入園説明会で保育園のしおり、運営規定で説明している。また、運営規定は掲示した。</p>
			子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a)	<p>143 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。</p> <p>144 子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。</p> <p>145 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。</p> <p>146 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。</p> <p>147 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。</p> <p>148 規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。</p> <p>149 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。</p>	<p>・マニュアルは整備されており、研修している。書類は鍵のかかる場所で管理している。保護者向けにも虐待防止ポスターを掲示している。</p> <p>・子どものプライバシーが守れるよう、カーテンや衝立を使用している。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	1	(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a)	<p>150 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。</p> <p>151 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。</p> <p>152 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。</p> <p>153 見学等の希望に対応している。</p> <p>154 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。</p>	<p>・長野市のホームページや「利用のご案内」「保育園のしおり」で市民に紹介している。しおりやホームページの園紹介はイラストや図で分かりやすく紹介し、毎年見直している。</p> <p>・利用希望者には園長、保育主任が対応し、相談にのったり分かりやすい説明を行ったりしている。</p>
			保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a)	<p>155 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。</p> <p>156 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。</p> <p>157 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。</p> <p>158 保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。</p> <p>159 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。</p>	<p>・「利用のご案内」やしおり等用いて入所説明会、継続説明会で全員に説明し、認定変更時にも保護者の意向に配慮し説明している。</p> <p>・持ち物等は実物を見ることができるようにし、丁寧に説明している。</p> <p>・障がいや理由とする差別を解消するための職員対応要領に基づき、配慮しながら説明している。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	1	(2)	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a)	<p>160 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。</p> <p>161 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。</p> <p>162 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。</p>	<p>・保育所の変更先には要録の写しを送ったり、口頭で伝えたりして保育の継続に配慮している。途中退所の時は今後も個別に相談を受け付けることを伝え、卒園児にも保護者相談や園だよりで今後も相談を受け付けることを伝えている。</p>
		(3) 利用者満足の向上に努めている。	利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a)	<p>163 日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。</p> <p>164 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。</p> <p>165 保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。</p> <p>166 職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。</p> <p>167 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。</p> <p>168 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。</p>	<p>・子どもの言葉、表情や様子から把握している。個別懇談、朝夕の送迎時、保育参加等を行っている。保護者相談は常時受け付けている。</p> <p>・保護者会には園長が出席している。</p> <p>・年2回のアンケートは職員会等で全員に周知し、分析、検討後改善している。保護者にアンケート結果として返している。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
	1	(4) 利用者が意見を述べやすい体制が確保されている。	<p>苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。</p> <p>保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。</p>	a)	<p>169 苦情解決の体制（苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置）が整備されている。</p> <p>170 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。</p> <p>171 苦情記入カードの配布やアンケート（匿名）を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。</p> <p>172 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。</p> <p>173 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。</p> <p>174 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。</p> <p>175 苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。</p> <p>176 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。</p> <p>177 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。</p> <p>178 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。</p>	<p>・「苦情解決の仕組みはマニュアル」があり、入所説明会で説明し玄関に掲示している。意見箱設置についても園だよりで知らせている。</p> <p>・アンケートは無記名で実施している。</p> <p>・意見箱の設置について玄関に置いてあることを園だよりで知らせている。</p> <p>・「苦情解決の仕組み」は玄関に掲示し入所説明会で伝えている。日頃から保護者との関りを大切にし、相談しやすいと感じてもらえるようにしている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	1	(4)	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a)	<p>179 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。</p> <p>180 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。</p> <p>181 職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。</p> <p>182 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。</p> <p>183 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。</p> <p>184 意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。</p>	<p>・「意見（要望）への対応マニュアル」が整備されている。園だよりで個別懇談はいつでもできることを伝えている。また、意見箱や無記名でのアンケートで意見を出しやすくしている。</p> <p>・意見や要望、相談内容は職員で周知し、改善できるところから行い、同じ対応ができるようにしている。アンケート結果は保護者に配布している。</p>
		(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a)	<p>185 リスクマネジメントに関する責任者の明確化（リスクマネジャーの選任・配置）、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。</p> <p>186 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順（マニュアル）等を明確にし、職員に周知している。</p> <p>187 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。</p> <p>188 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。</p> <p>189 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。</p> <p>190 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。</p>	<p>・園長が責任者となり、毎月安全衛生委員会及びリスクマネジメント委員会を月1回行い、ヒヤリハット報告から改善策を検討している。</p> <p>・マニュアルで研修を行い、安心安全な保育ができるようにしている。遊具の安全点検を毎日、園の安全点検を毎月行っている。</p> <p>・散歩コースの危険個所の確認を警察と行い、道路管理者、支所の職員と現地確認を行った。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
	1	(5)	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a)	<p>191 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。</p> <p>192 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。</p> <p>193 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。</p> <p>194 感染症の予防策が適切に講じられている。</p> <p>195 感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。</p> <p>196 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。</p> <p>197 保護者への情報提供が適切になされている。</p>	<p>・看護師が中心となり保健マニュアルに沿って研修し、予防や対応をしている。保護者にも毎日感染症情報を掲示し、対応等について知らせている。</p>
			災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	b)	<p>198 災害時の対応体制が決められている。</p> <p>199 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。</p> <p>200 子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。</p> <p>201 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。</p> <p>202 防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。</p>	<p>・「危機管理マニュアル」が作成されている。「消防計画」「水害時の避難確保計画」があり、毎月避難訓練を行い、年1回は消防署の指導を受けている。</p> <p>・非常時の備蓄品があり、整備している。小学校への避難を視野に入れ、連携が取れるようにしている。</p> <p>・水害等での避難場所に定められている篠ノ井西小学校や篠ノ井体育館への避難の誘導や保護者への連絡や引き渡し等の課題がないか水害の経験を活かし定期的に見直すことを期待する。</p> <p>・西部保育園では自家発電装置を保有している。この自家発電装置についても定期的な試運転の確認を行い災害時の使用が確実にできることを希望する。</p> <p>・西部保育園についても被災した後の保育施設をいち早く運営再開するための独自の事業継続計画（BCP）の策定を今後検討することを期待する。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
	2 福祉サービスの質の確保	(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a)	<p>203 標準的な実施方法が適切に文書化されている。</p> <p>204 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。</p> <p>205 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。</p> <p>206 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。</p> <p>207 標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。</p>	<p>・標準的な実施方法が「保育マニュアル」として文書化されており、読み合わせ等行い保育に生かしている。指導計画は保育主任と園長が確認し、職員会で全体に話したり、個別に指導している。</p>
			標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a)	<p>208 保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。</p> <p>209 保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。</p> <p>210 検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。</p> <p>211 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。</p>	<p>・園長会で検討し、補佐会に提案し、見直しをしている。指導計画についても職員の意見を取り入れて変更するよう提案している。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	2	(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a)	<p>212 指導計画策定の責任者を設置している。</p> <p>213 アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。</p> <p>214 さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。</p> <p>215 保育課程にもとづき、指導計画が策定されている。</p> <p>216 子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。</p> <p>217 計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。</p> <p>218 指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。</p> <p>219 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。</p>	<p>・責任者は園長となっている。入所前に「支給認定申請書兼利用申込書」「家庭の調べ」「緊急連絡カード」「個人情報の取り扱いについて(確認書)」等の書類においてアセスメントを実施している。</p> <p>・アレルギー疾患や心身発達に特別な配慮を必要とする子の保護者とは入所前に保育・幼稚園課の課長補佐、栄養士、保健師、園長と面談を行いアセスメント実施している。障がい児や気になる子については、個別の指導計画を作成している。</p>
			定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a)	<p>220 指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。</p> <p>221 見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。</p> <p>222 指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。</p> <p>223 指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。</p> <p>224 評価した結果を次の指導計画の作成に生かしている。</p>	<p>・年間指導計画は4月に全職員で見直しをしている。年4回評価している。保護者との懇談で意向を把握し、具体的な支援につなげている。月間指導計画、週日案は保育主任、園長が確認している。計画の内容、様式は園で見直し、園長会、補佐会で検討している。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	2	(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b)	<p>225 子どもが発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。</p> <p>226 個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。</p> <p>227 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。</p> <p>228 保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。</p> <p>229 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。</p>	<p>・長野市公立保育園で統一された様式があり、担任保育士が計画を立案している。保育主任、園長が確認し、個別や職員会で指導、研修している。特別な配慮を必要とする子については職員会で周知している。</p> <p>・保育業務のIT化については、予算の関係もあるがこれからの課題であり取り組みを期待する。週案や日案等に記録について手書きで行われており、丁寧に作成されている。IT化による情報の共有が図られ日案等の作成時間の削減等に繋がりサービスの向上が期待される。機器やソフトウェアと合わせ検討されることを希望する。</p>
			子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a)	<p>230 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。</p> <p>231 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。</p> <p>232 記録管理の責任者が設置されている。</p> <p>233 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。</p> <p>234 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。</p> <p>235 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。</p>	<p>・「個人情報保護マニュアル」で定められている。「ファイル基準表」に従って鍵付きの書庫に保管し、廃棄についても長野市に届け出を行い、決められた日に収集している。個人情報に関しては毎年研修を受けている。</p> <p>・保護者には入所説明会等で、個人情報の取り扱いについて説明し、確認書に署名をいただいている。また、行事の前などにはSNSへの投稿はしないよう伝えている。</p>